

教科・科目名	学 年	単位数	分類
音 楽	2	1 / 週	必修

使用教科書	音楽のおくりもの中学音楽1（教育出版）□ 音楽のおくりもの中学器楽（教育出版）□
副教材	パノラマワイド版 音楽 表現と鑑賞の資料（正進社） ミュージックノート（正進社）…副教材は3年間継続使用
受講にあたって留意すべきこと	器楽としてアルトリコーダーを用意。 （希望者には校内にて業者による販売を実施予定）
教科の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる素質・能力を次のとおり育てることを目指す
学年の目標（第2学年及び第3学年）	
<p>（1）知識及び技能の習得に関する目標</p> <p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>（2）思考力、判断力、表現力等の育成に関する目標</p> <p>曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>（3）学びに向かう力、人間性等の涵養に関する目標</p> <p>主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>	
活動内容の構成	領域：A表現（歌唱活動・器楽活動・創作活動）、B鑑
評価の方法・基準	理論テスト、歌唱テスト、器楽テスト（リコーダー）、授業態度、提出物（鑑賞の記録、レポート）

#### 学習計画（1学期）

時期	ユニット（題材名）	主要教材	指導事項	ユニットの目標（題材の目標）
4月	A：曲にふさわしい発声で歌おう	発声練習 合唱練習 ◇You Can Fly!	表現・歌唱	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種にじた発声との関わりを理解する。創意工夫生かした表現で歌うために必要な発声、言の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。歌唱表現に関わる知識や技能を得たりかしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。
5月	G：曲の特性を生かして歌おう	発声練習 合唱練習 ◇You Can Fly! 自由曲練習		
6月	I：曲想を味わいながら合わせて歌おう	発声練習 合唱練習 ◇You Can Fly!		

		自由曲練習		
7月	J : 郷土の様々な芸能を味わいながら鑑賞しよう	◇郷土の音楽や芸能 ・鹿踊 ・獅子舞	鑑賞	我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な特性と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。鑑賞に関わる知識を得たり生かしながら、言葉表現の共通性や固有性について、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に的・協働的に取り組む。

※7月に合唱コンクール及び1学期末試験（筆記）の実施を予定。8月は夏季長期休暇。

三

三

三

社  
成す

三

し

て

化

賞

業

2年

三

三  
を  
譲  
け  
生  
現  
り

三

背  
が

音楽  
について  
主体

学習計画（2学期）

時期	ユニット（題材名）	主要教材	指導事項	ユニットの目標（題材の目標）
9月	D：曲の形式を生かして歌おう	早春賦 ◇浜辺の歌  その他	表現・歌唱	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。創意工夫を生かした表現で歌うに必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付ける。歌唱表現に関わる知識や技術をり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。
10月	器楽リコーダー B：右手の運指や低い音を表現する奏法を身に付けよう	音階練習 もみじ、ふるさと ロングロングアゴー  その他	表現・器楽	アルト・リコーダーの音色や響きと奏法とをりを理解する。創意工夫を生かし、他の声部の聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身にる。器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主的・協働的に取り組む。
11月	F：オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	◇交響曲第5番 ハ短調 小フーガト短調	鑑賞	曲想と音楽の構造について理解する。鑑に関わる知識を得たり生かしたりしながら曲や演奏に対する評価とその根拠についてえ、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。
12月	B：リズムパターンを作ろう	◇八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作	表現・創作	音素材の特徴及び音の重なり方や反復、化、対照などの構成上の特徴を理解する。作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

※10月初旬に実技試験（歌唱）12月に2学期期末試験（筆記）の実施を予定。

学習計画（3学期）

時期	ユニット（題材名）	主要教材	指導事項	ユニットの目標（題材の目標）
1月	器楽リコーダー C：サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう	音階練習 レヴェル・プレイ カノン	表現・器楽	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。息を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付ける。器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながらにふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主的・協働的に取り組む。
2月	C：曲の構成のよさや面白さを味わいながら鑑賞しよう	◇ボレロ 火星	鑑賞	曲想と音楽の構造との関わりについて理する。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴学習に主体的・協働的に取り組む。
3月	I：曲想を味わいながら合わせて歌おう	卒業式の歌	表現・歌唱	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景とのりを理解する。創意工夫を生かし、全体の響きや各の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身にける。歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

※1月初旬に実技試験（器楽）2月に学年末試験（筆記）の実施を予定。

2年

ついに  
技術  
得た  
る学

関わ  
音を  
付けた  
体

賞  
、考  
習

変  
創  
た  
意  
。

工  
ロー  
現に  
、曲  
体

解  
り  
いく

関わ  
声部  
に付  
たり  
学習